

テールアルメ工法

施工要領書

仮設足場工

J F E 商事テールワン株式会社

## 目 次

1. 仮設足場工とは	-----	1
2. 部材・形状寸法図	-----	1
3. 全体組立図	-----	2
4. 組立方法	-----	3

## 1. 仮設足場工とは

テールアルメ工法は、盛土背面を主な施工領域としており、盛土の壁面についても、2次製品を盛土背面より重機によって吊り込み組み立てを行うため、原則として壁前面部の足場工を必要としません。しかしながら、天端部分における、盛土の縦断勾配を調整し、且つ、壁高さの調整を目的とした、現場打設コンクリート（笠コンクリートと呼ぶ）の施工に際しては、作業性の向上並びに作業員の安全をはかるために、仮設足場を設ける場合があります。ここに、笠コンクリート施工用のテールアルメ工専用足場工の説明をいたします。

### (1) TAフック

TAフックは、テールアルメ壁面用の専用フックです。

使用している壁面材タイプによって使い分けてください。TAフックは天端スキン袖部に使用できます。

### (2) TAブラケット

TAブラケットは、テールアルメ壁のブラケット以外に、吊り足場用としても使用可能です。また、他社製品（キャットウオーク）もTAフックと併用する事でテールアルメ壁の足場として使用可能です。

## 2. 部材・形状寸法図

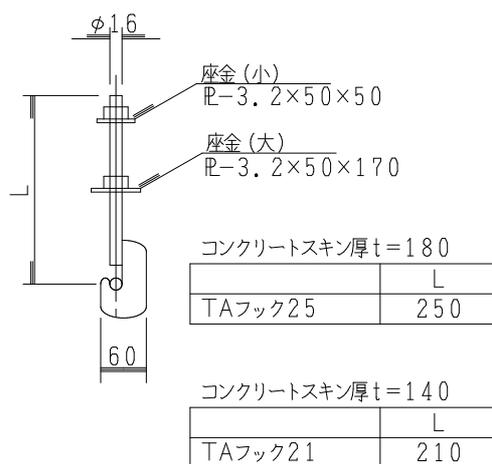


図-1 TAフック

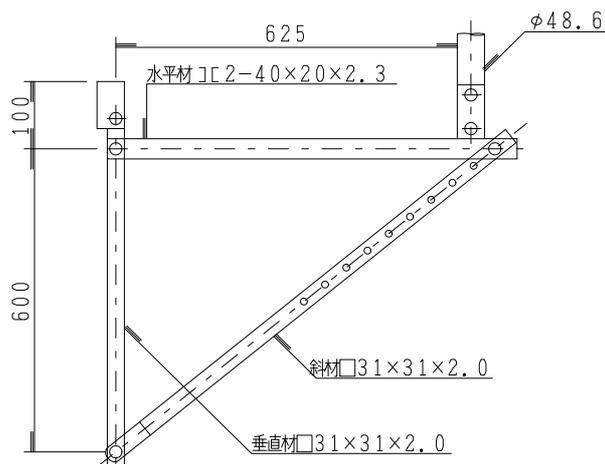


図-2 TAブラケット

### 3. 全体組立図

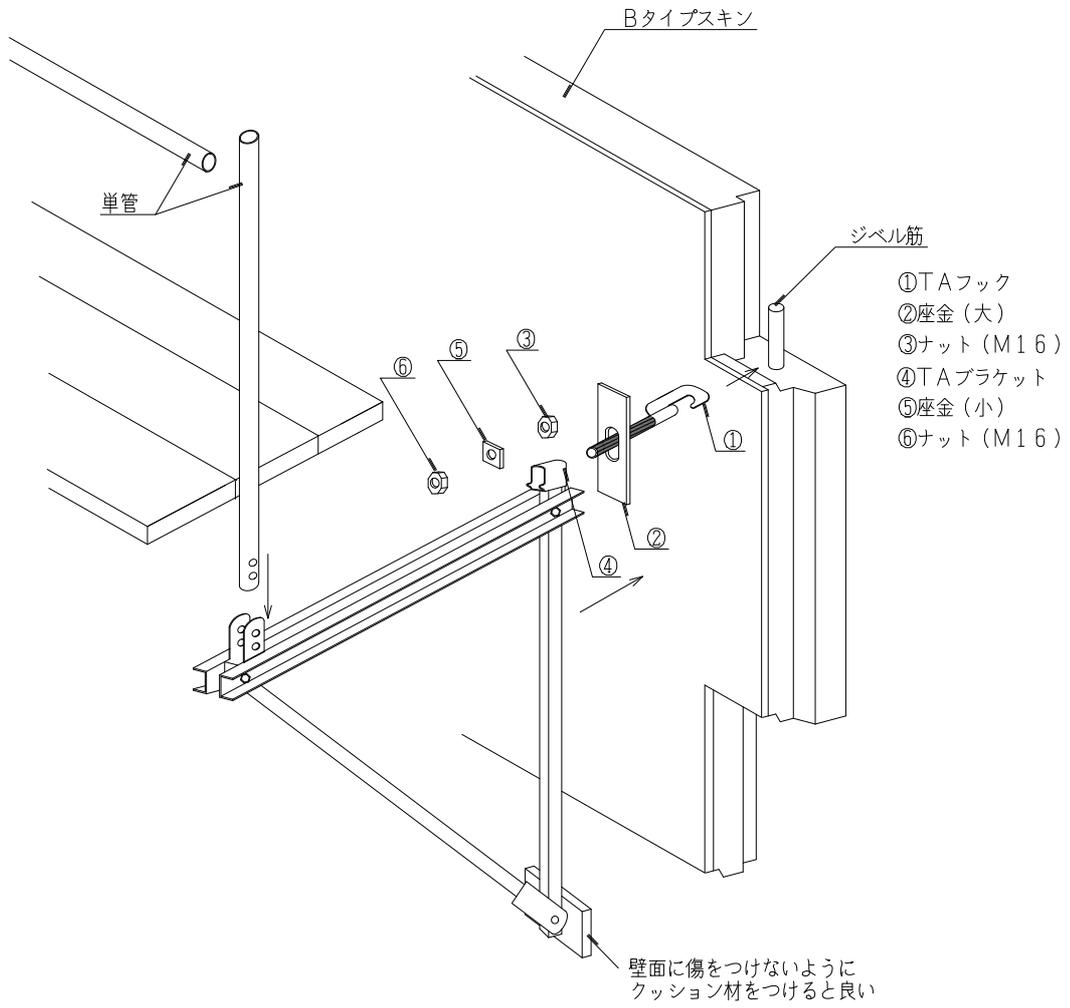


図-3 全体組立図

## 4. 組立方法

(1) 天端用ハーフスキン (Dタイプ) の設置を終了します。

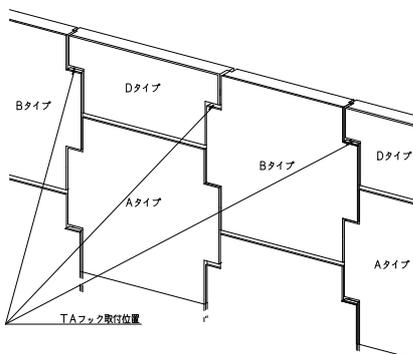


図-4 TAフック取付位置

(2) TAフック①をコンクリートスキンのジベル筋に引っ掛けます。

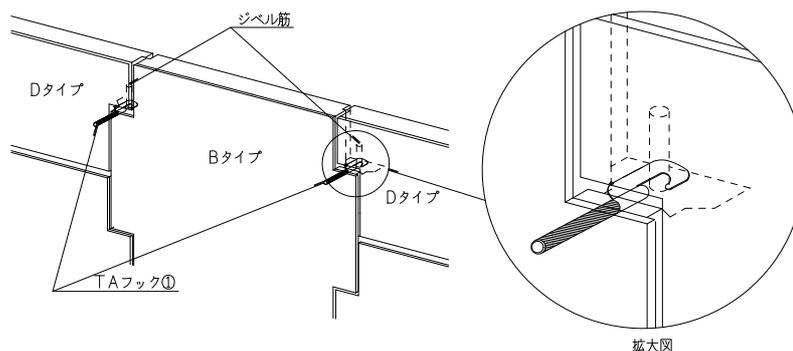


図-5 TAフック取付

(3) 大型座金②をコンクリートスキン表面にあて、ナット③でしっかり固定します。

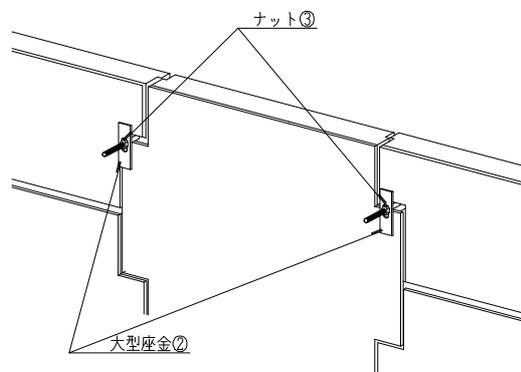
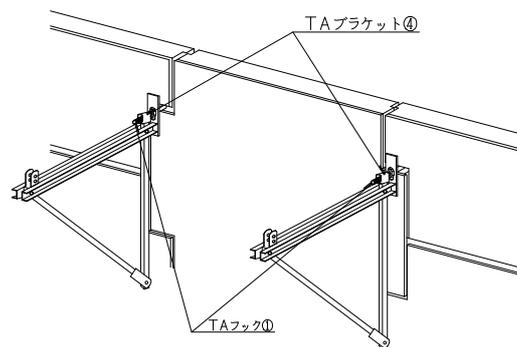


図-6 TAフックの固定

(4) TAブラケット④のジョイント部をTAフック①のボルトの根本まで通します。



注) この際、転落防止のために必ず安全帯を着用して作業を行って下さい。

図-7 TAブラケットの取付

(5) 小型座金⑤で押さえ、ナット⑥でしっかり固定します。

(TAブラケットの垂直材がコンクリートスキン表面に垂直に取り付いているか確認します。)

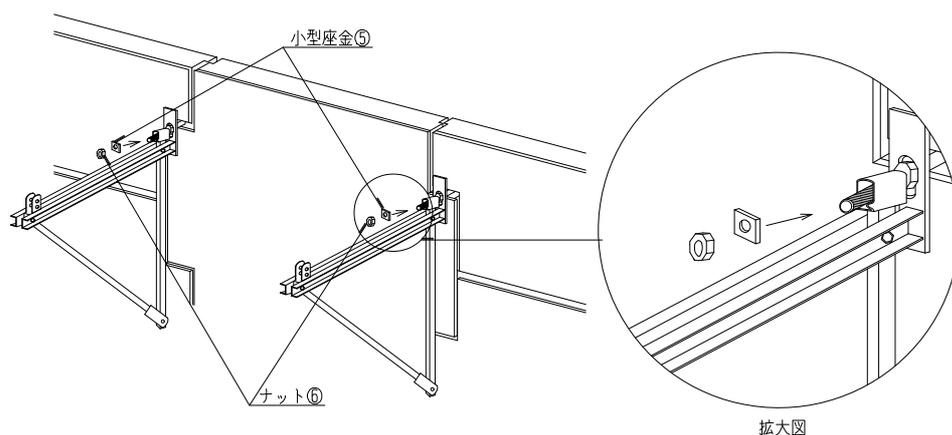


図-8 TAブラケットの固定

(6) 固定されたTAブラケットに通常の足場材を設置します。

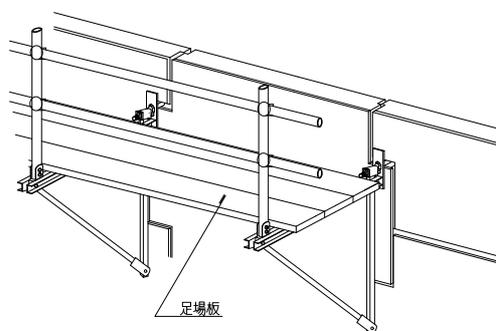


図-9 足場材の設置

※足場の撤去は、転落防止対策を考慮のうえ慎重に行ってください。